

本年度の総会を開催

4月15日(金) 中央公民館

深川市男女平等参画推進協議会の第21回総会を4月15日(金)、中央公民館で開催しました。今年度も昨年度に引き続いて新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小して開催しましたが、山下市長をはじめ市企画財政課の職員のみなさんにもご出席をいただくなか、多くの会員の皆様のご参加をいただき開催することができました。



総会では、加藤真佐子会長から「ウイズコロナの時代、私たちの活動もこれまで以上に工夫をこらしながら進めていかなければならない」と本年度事業への協力について挨拶の後、議長に飯尾康幸さんを選出し議事を取りすすめ、本年度の活動計画案、会計予算案について承認をいただきました。

新年度の役員は以下のとおりです。一年間、よろしくお願いいたします。

役職名	氏名(所属)	役職名	氏名(所属)
会長	加藤 真佐子(個人会員)	理事	寺本 和佳子(母と女性教職員の会)
副会長	高田 恵子(個人会員)	理事	成田 光美(母と女性教職員の会)
副会長	城 美照(個人会員)	理事	浦瀬 潔(深川地区連合会)
事務局長	水本 美津子(個人会員)	理事	楠 理智子(介護者と共に歩む会)
事務局次長	伊藤 美恵子(個人会員)	理事	田中 昌幸(個人会員)
会計	川原 三枝子(新日本婦人の会)	理事	関 良一(個人会員)
理事	伊藤 加寿子(新日本婦人の会)	理事	東出 周子(個人会員)
理事	西川 一美(赤十字奉仕団)	監査	浦山 三枝子(個人会員)
理事	海老田 昌子(赤十字奉仕団)	監査	高場 ひと美(個人会員)



会報かけはし

年間3回、発行する予定です。

第58号（7月発行）：第21回総会開催報告、2022年度の予定

第59号（10月発行予定）：第20回愛食祭、深川市男女共同参画市民フォーラム

第60号（2月発行予定）：女性プラザ祭2022、役員学習会報告、総会日程連絡

※掲載記事にご意見・ご要望等があれば事務局までご連絡ください。

女性プラザ祭 2022

毎年11月はじめに、道女性協会主催の女性プラザ祭が札幌市かでの2.7を会場に開催されています。北海道立女性プラザは北海道における女性の自立と社会参加を促進するとともに、男女平等参画を推進するためのキーステーション（重要な拠点）として平成30年11月に設置・開館されました。このプラザ祭は、毎年5日間にわたりさまざまなイベントを開催しています。当協議会は、その中のセッショントークや講演会を積極的に拝聴参加しようと考えています。詳細の案内がありしだいお知らせします。

男女共同参画市民フォーラム

男女共同参画社会の実現に向けて理解を深めていただくため、毎年開催している市民フォーラムを本年度は11月5日（土）にラ・カンパーニュホテル深川で開催予定です。

今年度のフォーラムでは、ジェンダーの視点からSDGs（国連で採択された持続可能な開発目標）を学習する内容にしたいと考えています。

詳細については、後日ご案内しますので多くの皆様のご参加をお願いします。



内閣府男女共同参画局 2022年度キャッチフレーズ

「あなたらしい」を築く、

「あたらしい」社会へ

第20回愛食祭（飲食なし）のお知らせ



日時：2022年10月8日（土）10時00分～11時30分
場所：ラ・カンパーニュホテル深川 2階青雲の間
定員：100名限定
参加費：500円
内容：深川市の栄養士による「食と健康」をテーマにした出前講座、
男女共同参画クイズ、お楽しみ抽選会



なぜ、男女平等参画推進協議会が「愛食祭」を開催しているのでしょうか？

深川はなんと言っても「農業のまち」です。農業関係従事者の半数は女性が占めており、文字どおり男女が共に力を合わせて農業を守り育てています。

また、深川市は地産地消と食生活の改善（食育）を推進しています。老若男女と一緒に「食」について共有することができるのが「愛食祭」です。

ところが、新型コロナウイルスの影響で2年続けて「愛食祭」は中止となりました。皆様のご協力で続けてこられた「愛食祭」は、深川市農業対策協議会から提供して頂く、新米や新鮮な野菜をみんなで会食するスタイルですので、コロナウイルス感染拡大が心配されるため、止むを得なく中止と判断しました。

現在は、ウイズコロナ（コロナとの共存）が言われていますので、今年は、「飲食のない愛食祭」を企画しました。

当日は、最初に深川市の栄養士さんに「食と健康」についてお話していただき、「男女共同参画クイズ」と「お楽しみ抽選会」を実施します。

厚生労働省の「健康日本21」では、成人が1日あたりに摂取したい野菜の目標量を350g以上と定めています。目安は、ほうれん草のお浸しや野菜サラダ、かぼちゃの煮物などの副菜の場合、小鉢1皿に含まれる野菜量は70gで、野菜炒めや野菜カレーなどのメインのおかずになるものは2皿分として換算し、目標摂取量を満たすには毎食小鉢を1皿以上、1日に小鉢で5皿以上の野菜料理を食べる必要があると言われています。

今年の「愛食祭」は深川市農業対策協議会から提供して頂く新米と野菜を調理せずに生のまま、参加していただく方全員に「秋の味覚詰合せ」として配付する予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。



「第3次深川市男女共同参画計画」が策定されます

深川市では、今年度、「第3次深川市男女共同参画計画」の策定作業を進めています。この計画は令和5年度から令和14年度までの10年間の取り組みの方向性を示すもので、これまでの計画をベースにして時代に即した新たな要素も加味して策定が進められる予定です。

「男女共同参画社会」は、性別にかかわらず誰もが暮らしやすい社会の実現を目指すもので、私たち市民一人ひとりの生活に関わる問題としてとらえていく必要があります。

今後、市民意識調査の結果や市民推進委員会の意見を踏まえて具体的な計画案が示される予定ですが、より良い計画となるよう男女平等推進協議会の会員の皆様からご意見等をお寄せいただきますようお願いいたします。

策定作業の中で検討される新たな要素やスケジュールは下記のとおりです。

新たな要素

(1) SDGsの位置づけ

ジェンダー平等に関する社会全体の機運の醸成

(2) コロナ対策の検討

就業面・生活面における課題の整理とその対策

(3) 法改正や国の重点方針等に掲げる施策等の検討（重点検討項目）

- ・ 行政・政治分野における女性の登用 ⇒ 特定事業主行動計画の推進ほか
- ・ 経済分野における女性の登用 ⇒ 一般事業主行動計画の推進ほか
- ・ 男女ともに仕事と子育て等を両立できる環境整備 ⇒ ワークライフバランス
- ・ 女性に対するあらゆる暴力の根絶 ⇒ DV防止法に基づく対策
- ・ 女性の視点に立った防災・復興 ⇒ ガイドラインを踏まえた対策の推進
- ・ 女性の生理と妊娠等に関する健康 ⇒ 「生理の貧困」への支援ほか
- ・ その他 ⇒ 「性的マイノリティ」の対応など

<策定スケジュール>

4～8月:市民意識調査、市民推進委員会等

9～11月:計画素案づくり、市民推進委員会等

12～2月:市議会所管事務調査、パブリックコメント

3月:計画策定

